

### 3 シティセールスとしての明治150年記念等について

(質問の要旨) 今年は明治150年の記念の年。当時の柏崎は桑名藩の飛び地であり、陣屋もあった。また、戊辰戦争の一部としての鯨波戦争もあった。シティセールスを進めるうえで、桑名市と今まで以上に都市間交流を深めていく考えはないか。また、柏崎ファンクラブを進化させた柏崎特派員を設置し、柏崎のよさの発掘と発信を強化することへの考え方を伺う。



柏崎には桑名藩の当時の殿様、松平定敬(さだあき)の書がいくつか残されています。比角小学校には「比角校」と書かれた額があり、柏崎小学校にも書が残されています。明治維新当時の宝は柏崎にもまだ数多く残っているはずです。

(市長答弁抜粋) 都市間の友好を深めることは有意義で第五次総合計画でも掲げている。柏崎市の歴史を理解することはシティセールスの根幹でもあり、つながりのある都市との関係性づくりは愛着や絆の深まりが期待できる。桑名市を含め、柏崎市とつながりのある都市との有意義な関係づくりを検討したい。柏崎特派員という名称ではないにせよ、ファンクラブ会員の中でもっと能動的に活動していく人に対して、積極的な取り組みを促していくような取り組みを考えていきたい。

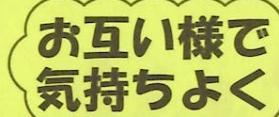
## 新潟産業大学・柏崎ショッピングモールへの対応

新潟産業大学・・・公立大学法人化へ舵を切るのは非常に難しい。新潟工科大学と平等に支援は継続していく。今まで毎年、産大にはおよそ2,000万円の補助を

していました。今後、産大を公立化して支えていけるだけの経済的なゆとりは市にはありません。

ショッピングモール・・・現状の支援は継続していくが、新たな提案は受け入れられない。

追加支援として、市としての「駐車場棟の買取り」「2階フロア全面の借受け」の2つの提案がありました。2月14日に議員全員協議会が開かれ、市長から新潟産業大学と柏崎ショッピングモール(フォンジェ)の市の方針が上記の説明・報告のようにありました。市長としては苦渋の決断だったと思います。この2件の決断をくだすにあたっては政策コンサルタントの(株)経営共創基盤からの助言があったとのことです。また、イトーヨーカドーが8月に閉店することが報道されました。まちなかのにぎわいの創出が急がれます。



▼この冬の雪は大変でした。交通機関のことや除雪などで困った方が少なくなかったと思います。市が行う道路除雪にはいくつかの条件があり、市道とはいえ市内の道路すべてを網羅することはできません。また、町内会などから個別に依頼する業者にしても、オペレータ(運転手等)の不足から要望に即座に応えられていなかったかもしれません。こういう大変な時こそ、「お互い様」の気持ちで協力し合い困難を乗り越えたいものです。除雪に関してはこの冬のことを忘れないうちに記録にとどめたり、今のうちに手続きをとっておいてください。▼各新聞で扱われているように今、柏崎市議会では議員による倫理審査請求が出されております。しかも2件です。それに関して審査会を立ち上げました。ご心配をおかけしています。早急な解決が図れるように協力していきたいと思います。 <重野正毅>

## 人を、まちを、未来を、つなげる 重野まさき通信

第13号 平成30年4月15日発行  
発行：重野まさき後援会  
事務所：〒945-0072 柏崎市北園町19-47  
連絡先：☎0257-24-1671  
発行責任者：入澤 稔 [後援会内部討議資料]

平成30年度が始まりました。皆様におかれましてはよきスタートを切られたことと思います。今年度はいろいろな節目の年であると同時にちょうど1年後に控えている市議会議員選挙の始動の年でもあり、慌ただしい1年になると思います。後援会としてもこれまで以上に力を合わせて取り組んでいくことも増えています。お世話になることも多々あると思います。よろしくお願ひいたします。

## 人材育成・確保・ものづくり産業に重点

### ～平成30年度予算可決～

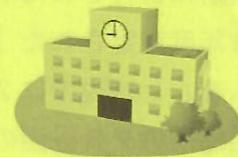


2月定例会議では平成30年度一般会計予算など、提出された議案はすべて原案の通り可決しました。平成30年度の一般会計予算は515億円(昨年度は485億円)です。この予算では、「人材育成・確保」があらゆる事業のベースであり、「ものづくり産業」にウエイトが置かれた編成になっています。重野議員は本会議採決前の討論で、この予算案に賛成の立場で賛成討論を行いました。

以下に主な新規事業や例年よりも力を入れて行う事業等を抜粋して記します。

### ＜人材育成・確保・教育環境整備・充実＞

- 介護サービスの人材は依然100人ほど不足している。介護人材や医師、看護師の確保に向けての事業を拡充する。
- 小中学校への指導補助員は4名増員し36名を、介助員は2名増員し28名を配置する。
- 柏崎特別支援学校内に「発達通級指導教室」1クラスが新設される。
- 全小学校に避難所になったときの情報収集及び平時の学習への活用のため、無線LANを整備する。来年度は全中学校に整備していく。
- 比角小の大規模改修、日吉小の体育館・食堂の改築とグラウンド整備、田尻小と二田小の体育館の屋根改修工事を行う。西山中と第三中と鏡が沖中の普通教室にエアコンを整備、第五中のグラウンド整備工事、北条中の体育館外壁改修工事を行う。
- 陸上競技場のスタート合図を行うピストルの配線工事および電子機器備品の更新を行う。
- アクアパーク内のトイレ修繕を行うとともに大規模改修工事に取り掛かる。
- 地中熱を利用した空調などの設備を学校や総合体育館に設置を進めていく。



昨年度は東中学校に設置しました。来年度は第一、瑞穂、南中学校に設置します。

### ＜子育て・福祉＞

- 65歳以上を対象にした市街地循環バス(ひまわり・かざぐるま)での割引を継続する。
- 平成20年から休止していた「ブックスタート」事業を再開する。4か月検診時に絵本2冊を配布する。



○住まい快適リフォーム事業として、子育て世帯や2世代3世代世帯への補助を行う。

○子育て短期支援事業として、保護者の入院などにより家庭で児童を養育する  
ことが一時的に困難になった場合に児童福祉施設等において養育を行う。

○枇杷島保育園の屋根防水、半田保育園の外壁と屋根補修、米山台保育園の外壁  
補修を行う。

○喬柏会館のトイレの洋式化改修工事を行う。



## 〈ものづくり・まちづくり〉 総事業費はおよそ71億円です。

○今年度の秋に新庁舎建設を着工する。完成予定は2020年の秋。

○道の駅「風の丘米山」の再整備に向けて実現可能性調査を実施する。

○3年ごとの「職人フェア2018」を10月頃に夕日ドームで開催する。

○原子力発電所廃炉産業調査研究事業を行い、地元企業の参入の可能性を  
探っていく。今年度は担当者による先進地視察を行う。

○米山のパンフレットを作り、ホームページにアップし、大平登山口にも設置する。

○市内の道路新設改良整備として合計37路線で改良工事を行う。橋りょう修繕と  
して11橋の修繕工事と159橋の安全点検を行う。

○柏崎産米ブランド化推進事業、「米山プリンセス」認証制度を進めていく。

○2か所目の資源物リサイクルセンターを今年度中に西本町に開設予定。

○田尻・米山のコミセンで外壁、講堂の屋根、トイレなどの大規模改修を行う。

○鰐石川2号雨水幹線改良工事として桜木町地内から鰐石川までの水路

120m中60m分の工事を始める。  
春日公園脇から鰐石川までの水路の拡張・  
整備です。鰐石川側から工事を始めます。



## 〈市政全般・発信〉

○政策コンサルタントとして(株)経営共創基盤に業務委託し、  
様々な政策決定の助言を得る。

○広域避難計画の住民への周知及び原子力防災訓練を実施する。

○消防に寄付されたドローン2機を適切に活用していく。

○昨年度策定された「空き家対策計画」を確実に実行していく。

○ふるさと納税では2億円を目指す。(昨年度はおよそ9千万円)

○柏崎市のPR動画の第1弾が完成したのでユーチューブに  
アップする(5月以降)。今年度は第2弾の制作に入る。

○4月から市長記者会見動画をホームページにアップし、  
FMピッカラでは生放送する。

○今年は海水浴場開場130周年。PR事業として、番神自然水族館体験事業などを展開する。

○洪水と津波のハザードマップを新たに作り、住民周知及び警戒避難体制の整備推進を図る。



## 「ひきこもり支援センター」を開設します

教育センター内に新規に開設します。主として18歳から60歳くらいまでの方を対象として、本人のみならずご家族からの相談を受けます。必要に応じて家庭訪問支援も行います。また、小学校から高校までの児童生徒を対象にした心理・教育相談支援は教育センター内で今まで通り行います。

## 今回の重野議員の一般質問

### 1 持続可能な開発のための教育(ESD)と柏崎学との関連 持続可能な開発目標(SDGs)の達成について

重野議員は、持続可能なまちづくりに向け、様々な視点から提言を行っています。



ESD…エデュケーション(教育)・オブ・サステナブル(持続可能)・デベロップメント(開発)  
SDGs…サステナブル(持続可能)・デベロップメント(開発)・ゴールズ(目標)

SDGsは2015年9月に国連サミットで採択され、社会・経済・環境面における持続可能な開発を目指す、先進国も途上国も含めた国際社会共通の目標のこと。「誰一人取り残さない社会」の実現を目指し、2030年を期限とする包括的な17の目標を設定している。2030アジェンダと言われています。

(質問の要旨) 持続可能な開発のための教育(ESD)は、持続可能な社会づくりの担い手を育む教育。それは「柏崎学」につながってくるものだと考える。ESDあるいはSDGsの考えを含めて、子どもたちへこれらの理念の定着を図る上での柏崎学の充実に対しての考え方を伺う。



(教育長答弁抜粋) ESDの取り組みは、将来を見据えたくましく生き抜く子どもの育成につながるものと考える。そして、柏崎学は、柏崎の様々な人、自然、文化などに触れ、そのよさを知り、将来の生き方につなげていこうとするものである。柏崎のことをより一層学んでいく中で、柏崎市のよさについて理解を深めながら、地域が抱えるさまざまな課題に関して、その課題の解決に向け積極的に考えを発信することや課題の解決のために行動できる人材の育成を目指したいと考える。

### 2 フッ化物洗口について



平成28年度の数値として公表されたものでは、12歳児がもっているむし歯の平均本数は全国は0.84本、新潟県は0.44本、柏崎市は0.58本です。フッ化物洗口を実施しないでブラッシングと食育指導だけで全国平均を大きく上回るこの数値は素晴らしいと思います。

(質問の要旨) 平成29年度から市内の全保育園、全小中学校で始めたフッ化物洗口。今後、教職員、児童生徒、保護者への指導や啓発をどのようにしていくのか。

(教育長答弁抜粋) フッ化物洗口の実施者率は小中学校全体で94.5%。今後、教職員へは実施に向けた手順や資料を提供する。保護者へはフッ化物洗口の意義を理解してもらうために説明資料を配布し、家庭でも虫歯予防の取り組みを継続するように啓発する。小学1年生には洗口開始前に練習し、歯科健康教育を指導していく。

## 6月定例会議の予定

6月7日(木)～6月22日(金)

6月12日(火)・13日(水)が一般質問



「重野まさき後援会」への入会を募集しています。ホームページからも入会できます。

ホームページ <https://www.masakishigeno.com> メール [info@m-shigeno.net](mailto:info@m-shigeno.net)

後援会事務所 ☎0257-24-1671 ★重野正毅はフェイスブックもしています★